



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月8日

上場取引所 東

上場会社名 美津濃株式会社

コード番号 8022 URL <http://www.mizuno.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 水野 明人

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経理財務担当

(氏名) 福本 大介

TEL 06-6614-8465

四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	45,204	6.1	2,480	△8.2	2,282	0.6	1,430	12.4
25年3月期第1四半期	42,611	2.6	2,703	△15.5	2,270	△24.8	1,272	△34.5

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 3,211百万円 (108.4%) 25年3月期第1四半期 1,540百万円 (△28.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	11.45	—
25年3月期第1四半期	10.22	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	153,259	85,125	55.4
25年3月期	150,992	82,536	54.5

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 84,913百万円 25年3月期 82,361百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	91,000	11.9	4,000	34.1	4,000	54.1	2,400	41.0	19.24
通期	183,000	11.8	7,000	94.2	7,000	70.9	4,200	115.8	33.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期1Q	132,891,217 株	25年3月期	132,891,217 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

26年3月期1Q	7,909,049 株	25年3月期	7,953,071 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	124,960,691 株	25年3月期1Q	124,567,171 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

※ なお、第1四半期決算の補足説明資料を当社ホームページに掲載する予定です。

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、当連結会計年度において、グローバルビジネスの拡大を通じた海外市場での一層の拡販、プロダクション機能強化による安定的な商品供給、及び国内事業基盤の再構築を最重要課題と位置づけ事業経営に取り組んでまいりました。

このような状況のもと、当第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日～平成25年6月30日）における当社グループの経営成績は次のとおりとなりました。

引き続き成長が著しいライフスタイルスポーツ市場において、ランニングシューズの売上が業績を牽引し、ベースボール品も堅調に推移しました。また、セノー株式会社を連結範囲に含めたことも前年同期比で売上高の増加に寄与いたしました。この結果、売上高は25億9千3百万円増収（6.1%増）の452億4百万円となりました。一方で、海外生産地における原材料や製造労務費の継続的な上昇が、仕入コストに影響し売上総利益率は低下いたしました（0.6ポイント低下）。連結対象会社の増加やシステム投資の影響により給料手当や減価償却費が増加し、のれん償却額が新たに発生したことで経費増となり、営業利益は2億2千2百万円減益（8.2%減）の24億8千万円を計上いたしました。経常利益は、主に為替差損の縮小により営業外損益が改善、営業減益をカバーしたため1千2百万円増益（0.6%増）の22億8千2百万円となりました。前年同期に計上された投資有価証券評価損の影響がなくなり、四半期純利益は1億5千8百万円増益（12.4%増）の14億3千万円となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

① 日本

日本は、参加人口が持続的に増大しているランニングやウォーキングなどライフスタイルスポーツにおいて、シューズやアパレル品が機能性をはじめユーザーの信頼度を一層高めた結果、引き続き堅調に推移いたしました。ベースボール品は、市場成長に期待できない中でシェアアップを図り、侍ジャパンなどマスメディアを使ったプロモーション効果もあって、ユニフォームなどアパレル品をはじめ、野球グラブや野球スパイクの販売で成果がありました。競技スポーツの分野では、サッカーが競争の激化とユーザーの選好の多様化傾向により苦戦が続きましたが、テニスやバレーボールでは新製品投入と多様なプロモーションにより健闘しました。ゴルフ品は、買い替えが進まない状況下で、販売の主流となったカスタムフィッティングシステムを広く展開し、ゴルフクラブやゴルフシューズの拡販において積極的な需要喚起に努めました。

この結果、売上高は8億3千6百万円増収（2.7%増）の316億6千5百万円、営業利益は売上総利益率の低下により2億6千5百万円減益（12.8%減）の18億1千6百万円となりました。

② 欧州

欧州は、当第1四半期連結累計期間において、深刻な気温の低下と天候不順に見舞われ、きわめて厳しい状況となりました。特に、ゴルフへの影響が大きく、ゴルファーのプレー回数は前年を大きく下回りました。取引先販売店もこの状況下で仕入抑制の姿勢を強めたため、主力のJ P Xアイアンをはじめ、カスタムフィッティングの強みを十分に発揮できませんでした。さらに、サッカーやラグビーなど競技用ウェアは、ユーザーの低価格志向が進み減速気味となりました。一方、ランニングシューズが引き続き収益に貢献したことに加え、バレーボールやハンドボールなどのインドアシューズが、専門店チャンネルでシェアを伸ばし今後に期待を持てるほどに成長するに至りました。なお、イタリア子会社MIZUNO ITALIA S.R.L.が1月に営業を開始しましたが、輸出から直販への体制変更のため連結業績に与える影響は僅少となっています。

この結果、売上高は2億4千1百万円増収（10.1%増）の26億3千6百万円、営業損益は2千8百万円改善し9千万円の営業損失となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間における欧州各通貨の換算レートは以下のとおりです。

英ポンド：149.75円（前年同期126.97円）、ユーロ：127.30円（前年同期103.32円）

③ 米州

米州においては、景気回復の兆しが鮮明となり、個人の消費マインドも次第に上向いてきました。ランニングシューズが業績を牽引するとともに、市場の成長が緩慢なベースボール品においても、ユーザーの品質重視の傾向が強まり、高価格帯の野球グラブの販売が堅調に推移いたしました。一方、ゴルフ品は、天候不順がラウンド数の低下をまねくなどの逆風もあり、需要が低迷し市場の縮小が進みました。全米を通じゴルフクラブのカスタムフィッティングによって拡販に努めたものの、上記の傾向のもと売上減に歯止めをかけることはできませんでした。

この結果、売上高は12億9千5百万円増収（19.1%増）の80億9千4百万円となったものの、営業利益は経費増により圧迫され2千3百万円減益（3.6%減）の6億2千3百万円となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間における米州各通貨の換算レートは以下のとおりです。

米ドル：91.06円（前年同期79.23円）、カナダドル：90.22円（前年同期79.02円）

④ アジア・オセアニア

アジア・オセアニアでは、景気のスローダウンを受け、消費マインドの低下によるエンドユーザーの買い控えの傾向が見え始めました。市場の需給バランスが不安定となり、店頭での在庫処分が流通価格の下落と利益率の低下をまねく傾向を強めました。

その中であって、成長途上にあるランニング品の市場では、機能性によって付加価値の高さが広く認知されているシューズやアパレルが、安定的な成長を示し収益に貢献しました。一方で、ゴルフ品はカスタムフィッティングによる営業スタイルを推し進めたものの、十分な成果が得られず苦戦しました。

この結果、売上高は2億2千万円増収（8.5%増）の28億8百万円、営業利益は9千2百万円増益（117.5%増）の1億7千万円となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間におけるアジア・オセアニア各通貨の換算レートは以下のとおりです。

台湾ドル：3.09円（前年同期2.66円）、香港ドル：11.74円（前年同期10.21円）、中国元：14.52円（前年同期12.57円）、豪ドル：94.38円（前年同期83.19円）

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ22億6千6百万円増加し、1,532億5千9百万円となりました。現金及び預金が30億8千万円増加する反面、季節的な要因による仕入減にともなって商品及び製品が17億9千万円減少いたしました。また、為替相場が円安に動いたため為替予約に係るデリバティブ債権（流動及び固定）が4億5千万円増加したことも影響いたしました。

負債は、前連結会計年度末に比べ3億2千2百万円減少し681億3千4百万円となりました。主に季節的な要因により、支払手形及び買掛金が41億2百万円減少する一方で、関係会社株式取得の資金需要に対し短期借入金が43億9千5百万円増加したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ25億8千9百万円増加し851億2千5百万円となりました。主な要因は、利益剰余金が7億8千8百万円、その他有価証券評価差額金が1億3千2百万円、繰延ヘッジ損益が2億7千5百万円それぞれ増加したことに加え、為替換算調整勘定も円安により13億3千4百万円増加する方向にはたりました。以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の54.5%から55.4%へと0.9ポイント改善いたしました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、平成25年5月16日に公表いたしました連結業績予想数値に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

MIZUNO ITALIA S. R. L. は、重要性が増したため、当第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,386	14,467
受取手形及び売掛金	41,474	42,221
有価証券	142	142
商品及び製品	27,351	25,560
仕掛品	603	709
原材料及び貯蔵品	2,460	2,488
繰延税金資産	1,566	1,517
その他	5,757	6,073
貸倒引当金	△940	△1,122
流動資産合計	89,801	92,057
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	17,747	17,702
土地	17,226	17,233
その他(純額)	2,213	2,252
有形固定資産合計	37,187	37,188
無形固定資産		
のれん	1,934	2,168
その他	7,548	7,451
無形固定資産合計	9,483	9,620
投資その他の資産		
投資有価証券	8,021	9,557
繰延税金資産	1,218	1,131
その他	5,927	4,371
貸倒引当金	△646	△667
投資その他の資産合計	14,520	14,393
固定資産合計	61,191	61,202
資産合計	150,992	153,259

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,200	15,098
短期借入金	9,102	13,497
1年内返済予定の長期借入金	3,000	3,000
未払金及び未払費用	9,995	9,269
未払法人税等	830	675
返品調整引当金	273	273
その他	1,666	1,778
流動負債合計	44,068	43,592
固定負債		
長期借入金	13,573	13,722
繰延税金負債	2,670	2,647
再評価に係る繰延税金負債	2,830	2,830
退職給付引当金	1,811	1,863
資産除去債務	249	235
その他	3,251	3,241
固定負債合計	24,387	24,541
負債合計	68,456	68,134
純資産の部		
株主資本		
資本金	26,137	26,137
資本剰余金	31,212	31,217
利益剰余金	27,925	28,713
自己株式	△2,892	△2,876
株主資本合計	82,382	83,191
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,927	2,060
繰延ヘッジ損益	1,529	1,804
土地再評価差額金	△657	△657
為替換算調整勘定	△2,820	△1,486
その他の包括利益累計額合計	△21	1,721
少数株主持分	174	211
純資産合計	82,536	85,125
負債純資産合計	150,992	153,259

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	42,611	45,204
売上原価	24,922	26,713
売上総利益	17,688	18,491
販売費及び一般管理費	14,985	16,011
営業利益	2,703	2,480
営業外収益		
受取利息	47	111
受取配当金	94	94
その他	71	117
営業外収益合計	213	323
営業外費用		
支払利息	73	103
売上割引	117	82
為替差損	419	260
その他	35	74
営業外費用合計	646	521
経常利益	2,270	2,282
特別利益		
固定資産売却益	1	2
特別利益合計	1	2
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	0	0
投資有価証券評価損	107	—
特別損失合計	108	1
税金等調整前四半期純利益	2,163	2,283
法人税等	866	826
少数株主損益調整前四半期純利益	1,296	1,457
少数株主利益	23	26
四半期純利益	1,272	1,430

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,296	1,457
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△198	132
繰延ヘッジ損益	△313	275
為替換算調整勘定	755	1,344
その他の包括利益合計	243	1,753
四半期包括利益	1,540	3,211
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,502	3,173
少数株主に係る四半期包括利益	38	37

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。